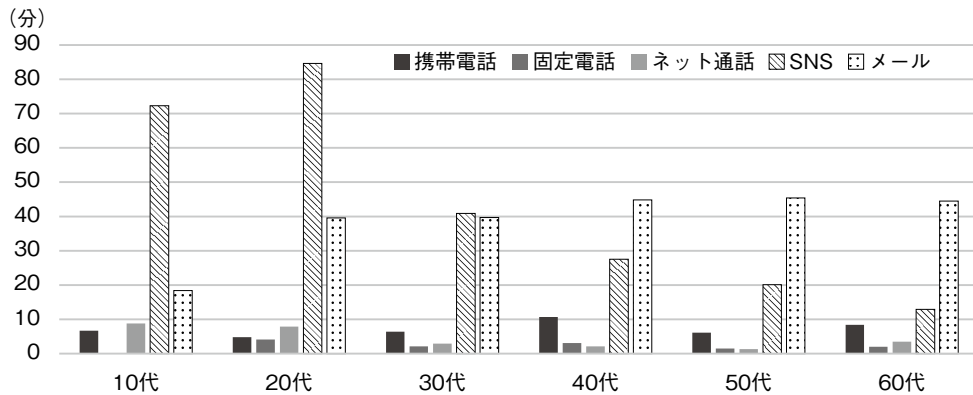


コミュニケーション系メディアの 年代別利用時間（平日）



総務省が13～69歳までの男女1,500名を対象に行った情報通信メディアに関する調査によると、コミュニケーション系メディアの使用状況では、10～20代ではSNSの利用時間が長く、40代以降ではメールの利用時間が長かった。また全年代を通して、携帯電話・固定電話による通話はわずかであった。SNSではLINEの利用率が高く、10～40代で利用率が90%を超え、60代でも8割近くがLINEを利用している。Facebookの利用率は減少傾向にあり、特に10代では20%を切っている。他方、Instagramの利用率は上昇傾向にあり、今回の調査ではTwitterと並んで、トップのLINEに次ぐ利用率となった。なお、全年代でスマートフォンが広く普及しており利用率は92.7%で、60代でも80%を超えている。テクノロジーの進歩とともにコミュニケーションのあり方も変わりつつある。

総務省情報通信政策研究所「令和2年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」より作表